



バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！ 石川ただよし 報告

2025 年 新年特別号 発行：無所属県民会議（県議会会派）久喜支部 作成・編集：石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コパシビル B201
TEL : 0480-53-5107
FAX : 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
<https://www.baribarist.com/>
(メールフォームあります)
f X Instagram YouTube
excite blog

プロフィール：昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了（経済学修士）
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会会派「無所属県民会議」幹事長。県議会環境農林委員会委員。経済・雇用対策特別委員会委員。（一社）久喜市観光協会顧問。（公財）埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。無所属議員の会埼玉代表。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。



今年もよろしくお願いします

昨年（令和6年）の活動概要のまとめ



※ 裏面もあります

大晦日の「石川ただよし報告」の配布から、令和6年も正月から活動を開始しました。この活動は平成8年から継続して続けています。



令和6年も元旦から活動開始

「環境農林委員会」「経済雇用対策特別委員会」に所属し、積極的に発言・提案しました。



委員会審査でも積極的に発言

皆さんから頂いたご意見やご要望を県につなげました。



県民目線の議員活動

「予算特別委員会」でも委員として令和6年度の予算・事業について、積極的に県民目線の質疑・提案を行いました。



各団体や地域の催事に積極的に参加をして、皆さんからの声に耳を傾けました。



2月 埼玉県内の政党に所属しない地方議員に呼びかけて、真に市民・県民目線で政治を行うための「無所属議員の会埼玉」を発足。代表に就任しました。



県内無所属議員で切磋琢磨

久喜市内の埼玉県事業などについて、直接、知事に要望



大野知事に地元の要望

R6年も報告会を開催し、県議会の様子や久喜市内県事業について分かりやすく説明をしました。



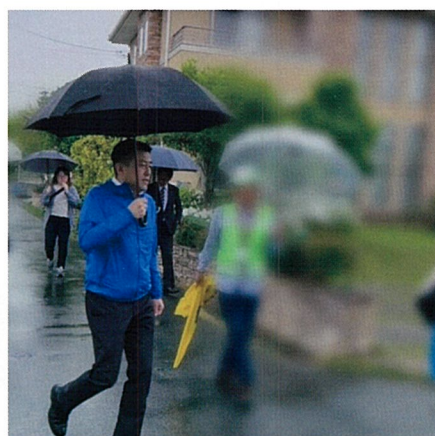
県議会を身近に 県政報告会で県事業を報告

積極的に議会で発言・質問などを通じて提案しました。

是々非々で県政に臨む



地元の状況調査、県事業の現場確認のための視察を積極的に行い、議会活動にいかしました。



現場確認のための視察→議会活動

通学路や県道の安全対策、県道の振動対策など皆さんからの要望や意見をつなげ、事業が進みました。

身近な課題にも



令和6年に議会活動で取り組んだ主なもの(抜粋)

- 高齢者のいきがいづくり支援 ○ 障がい者の就労支援 ○ 難病患者の就労支援 ○ 児童養護施設の職員人件費 ○ 自転車運転ルールの周知 ○ 米高温障害対策 ○ インバウンド誘致 ○ アピランス支援の充実 ○ 下水道維持管理負担金の平準化 ○ 福祉子ども避難所の設置推進 ○ 森林環境贈与税の有効利用 ○ みどりの創出 ○ 県内祭りの無形文化財化の推進 ○ 廃棄物の不法投棄対策 ○ 青毛の県農林振興センター跡地の有効活用 ○ 梨生産者支援 ○ 環境保護の推進 ○ 通学路への信号機・横断歩道の設置 ○ 県道川越栗橋線の安全・渋滞対策 ○ 県道加須騎西線の早期整備 ○ 県道行田蓮田線の早期整備 ○ 県道久喜加須バイパスの整備促進 ○ 県道春日部久喜線の振動対策 ○ 県道幸手加須線の早期完成 ○ 県道北根菖蒲線の早期拡幅・歩道設置 ○ 青毛堀川の修繕 ○ 門樋橋・古門樋橋の早期完成・安全対策 ○ 県道行田蓮田線の拡幅整備 ○ 備前前堀の浚渫推進 ○ 市内工業団地の新設 ○ 県産農産物の販売促進 ○ 水源地区の森づくり ○ 県有未利用地の有効利用 ○ 市内県道の振動対策 ○ 街路樹の適正管理 ○ 市内県道の整備 ○ 市内県管理河川の草繁茂対策・河川整備 ○ 市内県管理河川敷内の樹木対策

ほか

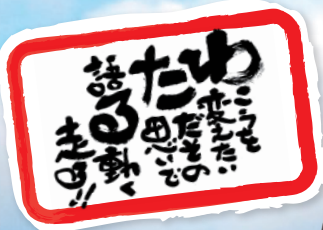
埼玉県議会議員 県政報告

井上わたる

配るホームページ 第87号



会派代表者に就任してから間もなく2年が経ちます。責任と業務が格段に増え、これまで以上に充実した日々を送っています。4期目の経験を活かして県政と和光市発展のためにこれからも尽力していきます。



無所属



TOPIC 1

会派代表として語る

今任期から会派「無所属県民会議」の代表を務めています。そのため様々なメディア出演の機会をいただいています。埼玉県議会のホームページで過去の放送が見られますので、是非チェックしてみてください。

初開催

テレビ埼玉 特別番組 「埼玉県議会主要会派 代表者討論会」

R6.12.26 (木) 19:00 ~ 20:00放送



会派
代表者
討論会1



会派
代表者
討論会2



テレビ埼玉 特別番組 「こんにちは県議会です」 ～新春インタビュー～

R7.1.1 (水)
10:00~10:30放送



広報ラジオ番組 「GOGOMONZ 埼玉県議会に おじゃましてーす! スペシャル」

R5.11.30 (木) 放送



TOPIC 2

県政について発信し続ける

日々の活動報告・県政に関する最新情報は引き続きネットを活用してお伝えしております。

共学化を巡る問題についてSNSでの発信に力を注いでいます。



その中でも「井上わたるの和光ブログ」では、『シリーズ県立高校共学化を巡る議論』と題して連載を続けています。

(年明け1月時点で第27弾まで更新しています。)チラシでは書ききれない詳しい解説や、埼玉県議会の構造的な問題にも踏み込んだ記事もあります。次に紹介するタイトルもごく一部です。是非ブログをご覧ください。



井上わたるの
和光ブログ



X
(旧Twitter)



Facebook



ブログ シリーズ

共学化を巡る議論

- ▶ この始まり「埼玉県男女共同参画苦情処理委員の勧告」とは?
- ▶ 寄せられた「1件の苦情」は、在学生や卒業生、その家族や未来の入学希望者の選択肢を奪うほどのものなのか?
- ▶ 「郵送で届いた1通の苦情」と「高校生たちが集め、そして直に届けた署名の束の重み」
- ▶ 大阪府の府立高校改革は「私学」を興し「公立」を弱めた。埼玉は同じ轍を踏まないよう
- ▶ 宮城県の県立校共学化に関する視察から考える
- ▶ 決算特別委員会の質疑で分かった事実 etc

こうした私のSNSでの発信に対して「ブログを読んでこの問題の背景がよく分かった」「応援してます」などのメッセージも寄せていただいています。なかには私の発信をもとにしてイラストを描いてくださった方もいらっしゃいました。これからも発信を続けます。



返信先: @inouewataruさん
井上議員、嬉しいですね
別字を応援してくださる議員さんの存在が本当に有り難いです
今後ともよろしくお願いいたします

返信先: @inouewataruさん
児童精神科医としても、一女卒業生としても、公立別学高校の継続を切に願っています
どうかよろしくお願いいたします

返信先: @inouewataruさん
いつも議会での出来事やブログの配信をありがとうございます。多数の力でルールを捻じ曲げて決めてしまうことを許さない、という井上議員の正義が埼玉県議会全体に広がりますようにと祈らずにはいません。これからも応援しています!!



※PCの場合は、「井上わたるホームページ」のトップページにあるアイコンからご覧ください。

裏面に続きます

埼玉県立高校には現在12校の別学校があります。ところが、県立高校を管轄する埼玉県教育委員会は「将来的にそれらを全て共学化しよう」という方向に向かいつつあります。私は「**一律の共学化には断固として反対! 別学を維持すべき!**」という立場です。それにしても、なぜこのような事態になったのでしょうか? 解説したいと思います。

- 1 この発端は、令和4年4月に埼玉県の第三者機関である『男女共同参画苦情処理委員(※3名の有識者で構成)』に1件の苦情が寄せられたところから始まります。
- 2 その苦情の内容は「埼玉県立の男子高校に女子は入学出来ないのは、**女子差別撤廃条約**に違反しているので事態が是正(=男子校・女子校を廃止し、全て共学化)されるべき。」というものでした。
- 3 この苦情を踏まえ、男女共同参画苦情処理委員は令和5年8月に県教育委員会(以下、県教委)に対して「**共学化が早期に実現されるべきである。**」との勧告を出しました。
- 4 県教委は、この勧告から1年後の令和6年8月までに方針を決めなければならなくなりました。県教委はそこから様々な意見聴取やアンケートを行いました。
- 5 県教委の調査と並行して、共学化を実現したい市民団体や埼玉県議会自民党議員団は推進を求める活動を行い、一方で別学に通う学生や卒業生、保護者等は別学維持を求めて署名や要望活動を行いました。
- 6 県教委が実施した調査結果も「別学を求める声のほうが多い」となりましたが、昨年(令和6年)8月、**県教委は「主体的に共学化を推進していく」という方針を表明しました。**
- 7 今年(令和7年)1月に素案が示された「**魅力ある県立学校づくりの方針(=再編方針)**」改定版にも共学化の方針が明記されました。**←今ここ**



私は「これから高校進学する埼玉の子どもたちにも女子校・男子校を残していきたい!」と考えています。その理由はたくさんありますが、主な理由としては次の5つを挙げたいと思います。

①発端となった「男女共同参画苦情処理委員」の勧告内容が見当外れである

- ・そもそも国立の別学校が存在し、文科省も「別学は女子差別撤廃条例違反に当たらない」と答弁しているため、県立の男子校・女子校があることは女性差別には当たらない。
- ・勧告では「別学校は管理職や教職員の女性率と設置学科に偏りを生む」ことを指摘しているが、それと共学化を結びつけるのは無理がある。加えて既に女性教職員を増やすよう県教委も努力している。

②今でも同一圏内に偏差値の近い男子校・女子校・共学校が配置され、受験生にとって選択肢が用意された状況といえる

③異性が苦手、異性を気にせず学びたいという声もあるため、多様性の観点からも、むしろ別学を維持すべき

④別学として築かれた伝統に憧れ、別学を志望する中学生が今も大勢いる

⑤県教委の決定には、関係者(=在校生、保護者、卒業生など)や多くの県民の声(=アンケートなどでは別学維持が多数という結果であった)が十分に反映されていない。むしろ、推進派の市民団体や県議会多数派である自民党議員団の声が重要視された結果となっており、県民、特に子どもたちの声に寄り添っていない。



県教委は今後、新たなアンケートや地域別の意見交換、有識者への意見聴取などに行うとしていますが、現在、**別学維持を求める当事者やこの問題に疑問を持った多くの皆さんが共学化方針の見直しを求めて活動を活発化させています。**

私はこれまでも議会での調査や決算特別委員会での質疑などを通して別学維持に向けて取り組んできました。これからも別学維持に活路を見出すべく、力を注いでまいります!

井上わたるプロフィール

自己紹介

昭和54年10月1日生まれ。
父親の転勤により東京、名古屋、広島、兵庫などで生活。平成7年阪神大震災に被災。当時の政府や自治体の対応に問題を感じ、「人の暮らし・命を守る政治家になる」と決意。妻と長女、長男の4人暮らし。子育てしながら議員活動を行う。

経歴

- 平成14年:立命館大学法学部環境生活法コース卒業
- 平成14年～19年:福祉・医療系人材派遣会社にて介護・看護職の就業支援に携わる。

- 平成19年～23年:和光市議会議員を務める。この年の選挙で「本人」の旗を掲げて駅頭や自転車で活動。以来、和光市における「元祖・本人」の異名をとる。
- 平成23年～:県議会議員1期目。無所属議員の同志と共に活動スタート。
- 平成27年～:県議会議員2期目。会派「無所属県民会議」を結成。政務調査会長を務める。
- 平成31年～:県議会議員3期目。令和元年度には県政史上初の「無所属議員の議連 副委員長」を務める。
- 令和5年～:県議会議員4期目。会派代表を務める。



発行元 連絡先 **埼玉県議会議員 井上わたる事務所**
(埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡401号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail: inoue_airline@yahoo.co.jp